らくらくホン ベーシックS

ISSUE DATE: '08.5

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

かんたん操作ガイド　FOMA® F883iS

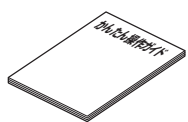
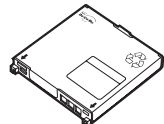
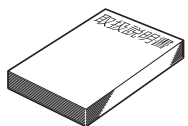
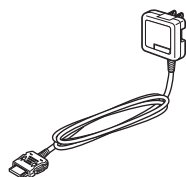
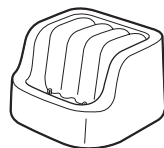
このたびは「FOMA F883iS」を
ご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

かんたん操作ガイドは、携帯電話をはじめてお使いになる方のために、初歩的な知識や操作のみを、簡単な表現でわかりやすく説明しています。
また、携帯電話をはじめてお使いになる方に基本的な操作を教える場合にもご利用いただけます。
操作方法が複数あるときは、代表的な操作をひとつだけ記載しています。

FOMA F883iSには、操作を音声で読み上げる「音声読み上げ機能」が付いています。この機能の内容および設定方法については、本書P56「音声読み上げを使おう」をご覧ください。

F883iSの説明書は、『かんたん操作ガイド(本書)』と『取扱説明書』の2冊で構成されています。FOMA F883iSのすべての機能について知りたいときは、別冊の『取扱説明書』をご覧ください。

本体付属品および主なオプション品について

■本体付属品

■主なオプション品

その他のオプション品については、取扱説明書P492をご覧ください。

マナーについて

携帯電話は外出先でも連絡が取れる、大変便利な道具です。しかし、使ってはいけないところや電源を切らなければいけないところもあります。
まわりの人に迷惑をかけないよう気配りして、気持ちよく安全に使いましょう。

電源を切る

携帯電話は電源を入れておくだけで、常に弱い電波が出ています。その電波が悪影響を及ぼすおそれがあるところでは必ず電源を切りましょう。

※ 航空機内での使用は法律で禁止されています。
※ 満員電車などの混雑したところでは、近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。

使用を控える

静かにしなければならない公共の場では着信音などに気を配ることはもちろん、携帯電話から漏れる光もまわりの人の迷惑になります。
また、自動車などを運転中に使用しないでください。

※ 運転中の使用は法律で禁止されています。安全なところに停車してから、使用しましょう。

通話を控える

人が多く集まるところでは、人の話し声がとても気になります。そのようなところでは通話はもちろん、着信音も鳴らないように設定しましょう。

こんなことにも

つい通話やメールに夢中になり、知らず知らずのうちにまわりに迷惑をかけたり、通行の妨げになったりすることがあります。気配りを忘れずに使用しましょう。

目　次

1 まずはここから

2 たのしく使おう

3 もっと使おう

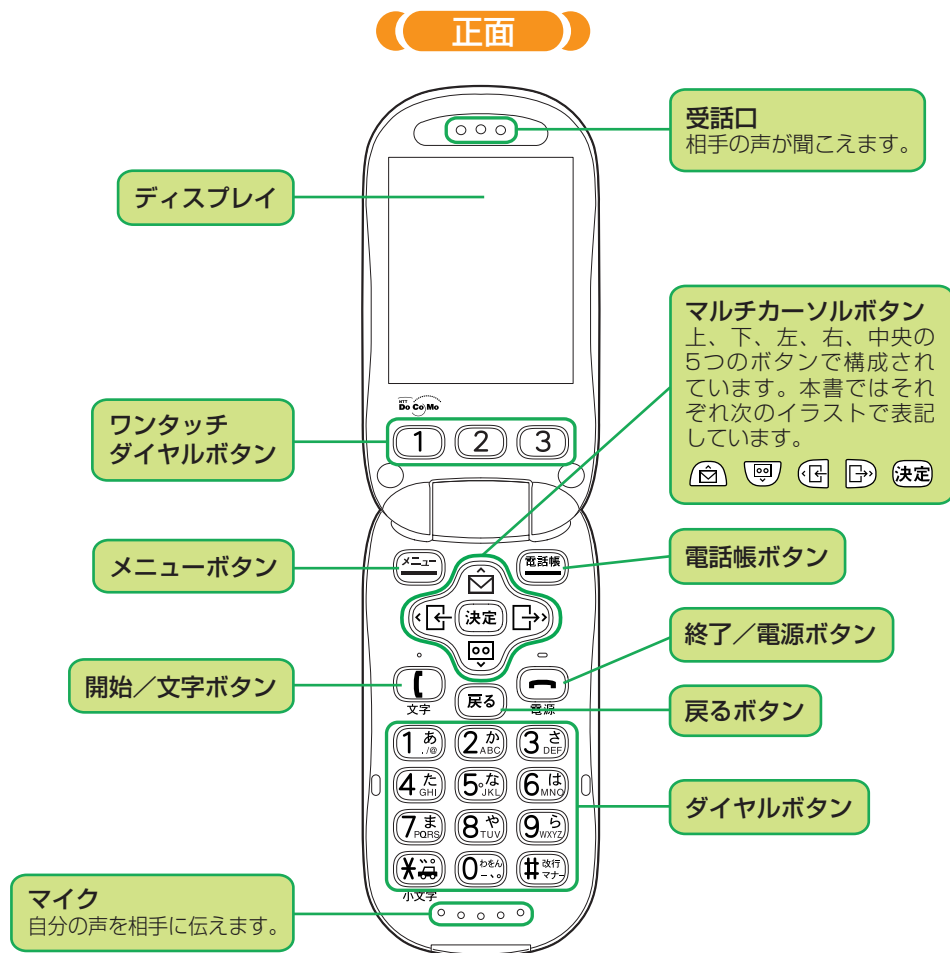
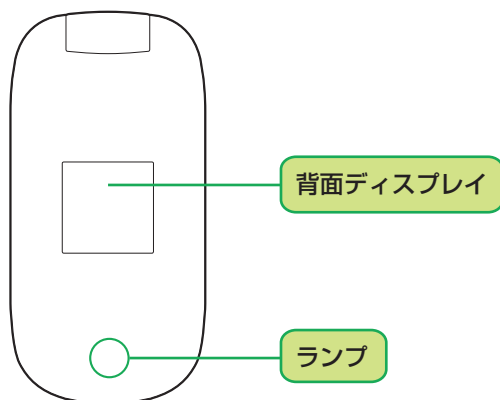
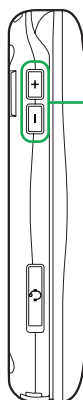
ご使用になる前に

各部の名前を覚えよう

本書内で使用している主な名称と役割を説明します。その他の名称や役割については、取扱説明書P20「各部の名称と機能」をご覧ください。
本書の操作文は、F883iSのボタンを、名称ではなくそれぞれのイラストで表記しています。

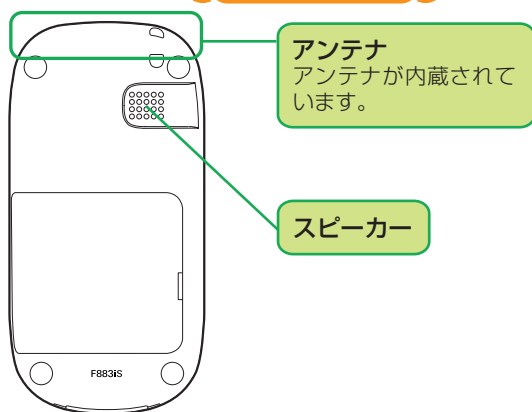
背面（上部）

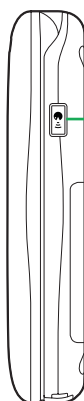
背面ディスプレイ

ランプ

左側面

音量ボタン
通話中や読み上げ中に音量を調整するときに使います。
[+]：音量が大きくなります。
[−]：音量が小さくなります。

背面（下部）

アンテナ
アンテナが内蔵されています。

スピーカー

F883iS

右側面

音声読み上げボタン

2つのディスプレイの見かた

ディスプレイの見かた

ディスプレイはメニューやメール、電話帳、ｉモードなど、F883iSの操作状況を表示する部分です。操作していないときには、日付や時刻、F883iSの状態を確認することができます。
ここでは簡単に待受画面の見かたを説明します。詳しくは、取扱説明書P22「ディスプレイの見かた」をご覧ください。

待受画面
すべての操作のスタート画面になります。

電池残量

十分	少ない	ほとんどなし

（電池マーク）が表示されているときは充電してください。

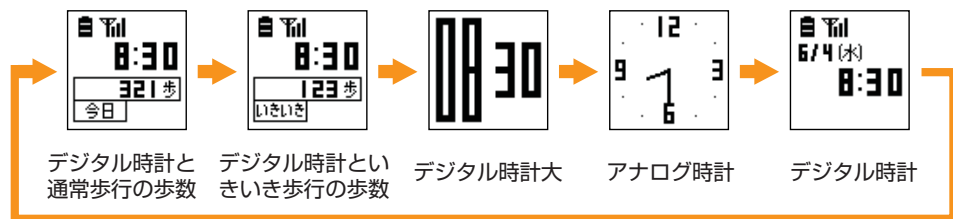
電波の受信状態

強 ←→ 弱	圏外
	サービスエリア外や電波の届かない場所

圏外 が表示されているときは、電話やメールの送受信はできません。

背面ディスプレイの見かた

F883iSを折り畳んでいるときは、日付や時刻、電池残量、電波の受信状態などを、背面ディスプレイで知ることができます。
F883iSを開いているときは、背面ディスプレイの表示は消えます。

背面ディスプレイの照明が点灯しているときは、[ボタン]を押すたびに次のように時計の表示が切り替わります。
背面ディスプレイの照明が消えているときは、[+][−][ボタン]のいずれかのボタンを押すと点灯します。

歩数計を［利用しない］に設定しているときは、デジタル時計→デジタル時計大→アナログ時計の順に表示します。

新着情報の表示

メールの受信や取ることができなかった電話の着信などがあると、待受画面に新着情報として表示されます。

[メールボタン]を押す　：　受信箱のメール一覧（本書P45「届いたメールを読む」操作1の画面）が表示されます。

[着信ボタン]を押す　：　着信履歴（本書P24「かかってきた相手に電話をする」操作1の画面）が表示されます。

[伝言ボタン]を押す　：　伝言メモの件数確認画面が表示されます。伝言メモについては、取扱説明書P77「電話に出られないときに用件を録音します」をご覧ください。

[［]を1秒以上押す：　留守番電話サービスを契約している場合にメッセージが録音されると、留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。

新着情報の内容を確認せずに表示を消したいときは、[戻る]を1秒以上押します。

ｉチャネルについて

ｉチャネルにお申し込みいただくと、ニュースや天気などの情報が待受画面にテロップ表示されます。[決定]を押して、さらに詳しい情報を閲覧することができます。
詳しくは、取扱説明書P254「ｉチャネルとは」をご覧ください。

ｉチャネルのテロップ

ガイド行に[ch]が表示されているときに[決定]を押すと、チャネル一覧を表示させることができます。

ボタン操作を覚えよう

ボタンを押す長さで変わる操作

ボタンを押す操作には、短く押す操作と長く（1秒以上または2秒以上）押す操作があり、それぞれ異なる機能が動作します。
本書では、短く押す操作を単に「押す」と表記し、長く押す操作を「○秒以上押す」と表記しています。

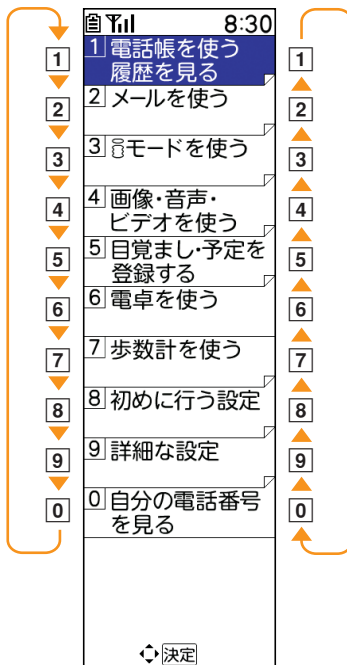
例 待受画面でを押す　：メールのメニュー画面が表示されます。
待受画面でを1秒以上押す　：メール作成画面が表示されます。

項目を選ぶときのボタン操作

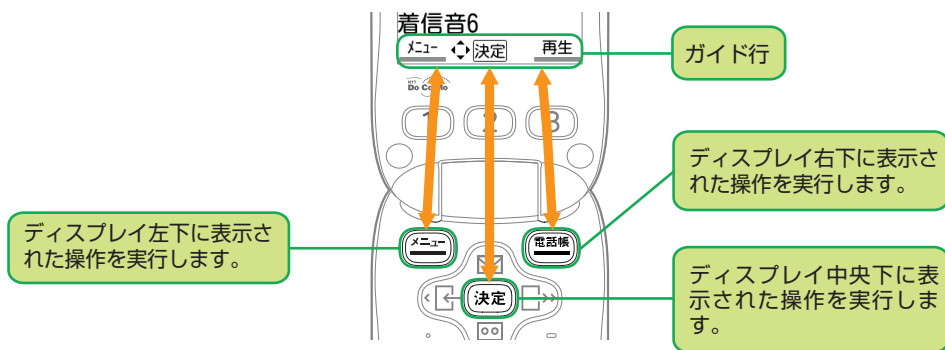
を使って、行いたい操作の項目を選びを押します。選んでいる項目の色が変わります。
本書では、またはを何回か押して項目を選ぶ操作を「を押して［●●●］を選び」などと表記し、を使って項目を選ぶ操作を「を押して［●●●］を選び」などと表記しています。
またはを押したときの動きは次のとおりです。

例 メニュー画面

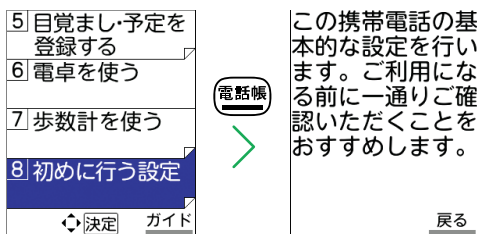
待受画面でを押すと、メニュー画面が表示されます。

を押すたびに選んでいる項目が下に動きます。項目の最後を選んでいるときにを押すと、1に戻ります。

を押すたびに選んでいる項目が上に動きます。1を選んでいるときにを押すと、項目の最後に移動します。

ガイド行表示とボタン操作

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます。
表示位置とボタンは、下図のように対応しています。
ガイド行に表示されている操作を実行したいときは、対応するボタンを押しましょう。

ガイド行にガイドと表示されているとき

画面の右下にガイドが表示されているときに電話帳を押すと、これから利用しようとする機能の詳細説明などが表示されます。

例 ［初めに行う設定］を選び電話帳を押したとき

待受画面や1つ前の画面に戻すには

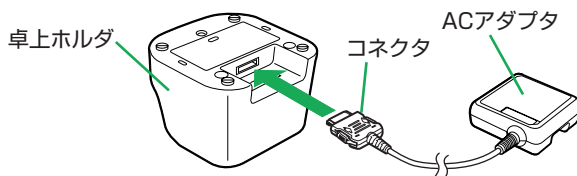
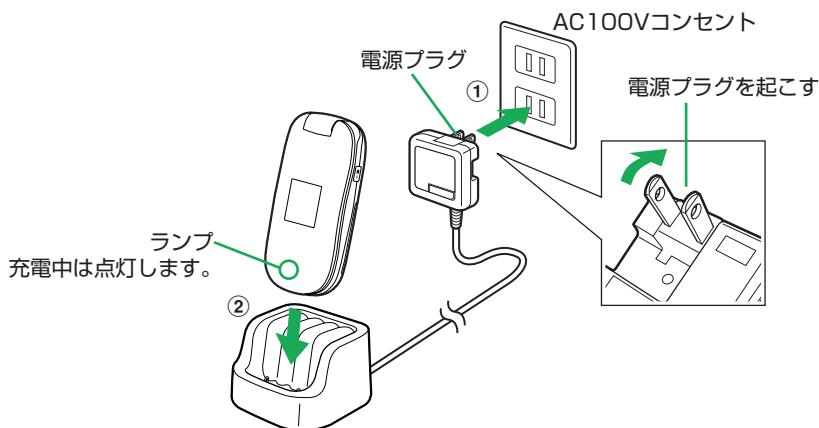
終話と戻るは操作の終了時や、前の画面に戻ったり、やり直したりするときに使用する重要なボタンです。

終話：待受画面に戻ります。
本書の説明どおりの画面が表示されない場合や操作を間違えた場合にも、終話を押して待受画面に戻し、操作のはじめからやり直しましょう。

戻る：1つ前の画面に戻ります。

卓上ホルダを使った充電のしかた

卓上ホルダを使用しない充電方法については、取扱説明書P37「ACアダプタ／DCアダプタでの充電方法」をご覧ください。

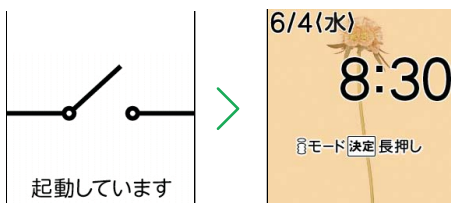
1 卓上ホルダの底面を上にして、ACアダプタとつなぎます。

2 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み(①)、F883iSを折り畳んだ状態で卓上ホルダに差し込みます(②)。

3 ランプが消え、「ピーッ」という通知音が鳴ったら、充電完了です。

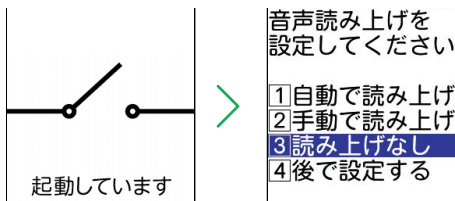
電源の入れかた

こちらから電話をかけたり、メールを送信したりするときはもちろん、電話を受けたり、メールを受け取ったりするためにも、電源は常に入れておく必要があります。
ただし、電源を切らなければならない場所もあるので、注意しましょう。

1 F883iSを静かにしっかりと開きます。

2 (電源キー)を2秒以上押します。バイブレータが振動して、電源が入ります。

■ 初期設定が終了しているとき

日付と時刻をすでに設定しているときは、待受画面が表示されます。

■ 初期設定が終了していないとき

はじめてF883iSの電源を入れたときなど初期設定が終了していない場合には、上記のような設定画面が表示されます。本書P12「初期設定をしよう」へ進んでください。

電源を切るには

(電源キー)を2秒以上押します。

初期設定をしよう

はじめてF883iSの電源を入れたときには、いくつかの初期設定をする必要があります。

音声読み上げを
設定してください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし
4後で設定する

音声読み上げを設定するかどうか、または後で設定するかを選びます。音声読み上げを設定する場合は、自動または手動を選びます。
音声読み上げの設定方法については、本書P56「音声読み上げを使おう」をご覧ください。

自動で読み上げ　：自動で読み上げます。
手動で読み上げ　：を押したときに読み上げます。
読み上げなし　：読み上げをしません。
後で設定する　：こちらを選ぶと、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び左の確認画面が表示されます。

日付と時刻を自動
で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に、自動で日付と時刻を設定するかどうかを選びます。

自動で設定する　：自動で日付と時刻を設定します。電源を入れ直したときなどに、時刻の補正が自動的に行われます。
手動で設定する　：年月日、時刻などを自分で入力します。入力方法については、取扱説明書P43「日付・時刻を合わせます」をご覧ください。

※時刻情報が取得できたときは表示されません。

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください
決定

歩数計の設定画面が表示されます。
歩数計の設定方法については、本書P69「歩数計でチェックしよう」をご覧ください。

ソフトウェア更新
を実行しますか？

1 実行する
2 実行しない

ソフトウェア更新を実行するかどうかを選びます。
はじめて電源を入れたときには、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示されます。電池が十分に充電されていることを確認して、［実行する］を選び決定を押してください。詳しくは、取扱説明書P505「ソフトウェア更新を利用します」をご覧ください。

実行する　：ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。必要がある場合にはソフトウェア更新を実行します。

実行しない　：ソフトウェア更新を実行しません。

この操作を行うと、初期設定が終了します。

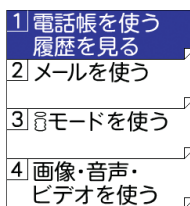
ソフトウェア更新とは

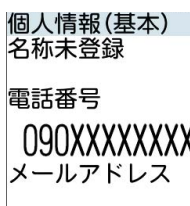
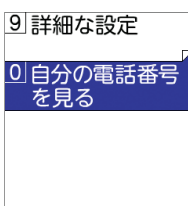
F883iSのソフトウェアを更新する必要がある場合にドコモのサイトに接続して、ソフトウェアの一部をダウンロードし、お使いのF883iSのソフトウェアを最新の状態にする機能です。なお、この操作を行う場合の接続料やダウンロードの際の通信料は無料です。

確認しよう

携帯電話を購入して、早速、友人に電話番号やメールアドレスを教えようと思ったら、自分の電話番号とメールアドレスがわからないということがよくあります。
自分の電話番号とメールアドレスを確認する方法は、必ず覚えましょう。

自分の電話番号を確認するには？

1 待受画面で(メニュー)を押します。

2 (✉)(◎◎)を押して[自分の電話番号を見る]を選び(決定)を押すと、自分の電話番号が表示されます。

個人情報（基本）
名称未登録
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

3 確認したら(━)を押して、待受画面に戻しましょう。

個人情報の登録・修正について

お買い上げ時にはF883iSの電話番号のみが表示されますが、個人情報にはこれ以外にも、名前やメールアドレス、F883iSの電話番号以外の電話番号を登録することができます。個人情報（基本）の画面で(電話帳)を押して暗証番号を入力すると、個人情報の登録や修正ができます。
登録できる項目は次のとおりです。

- 名前、フリガナ
- 電話番号（F883iSの電話番号を含めて3件まで）
- メールアドレス（3件まで）

個人情報に登録しておくと、他の人に電話番号やメールアドレスをお知らせしたいときに、すぐに確認することができます。

自分のメールアドレスを確認するには？

ｉモードご契約の確認

メールのやり取りをするためには、ｉモード契約（有料）が必要です。F883iSのお買い上げ時にｉモード契約をお申し込みいただかなかった場合には、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 待受画面で[メニュー]を押します。

2 [上][下]を押して[メールを使う]を選び[決定]を押します。

3 [上][下]を押して[メールアドレスを確認・変更する]を選び[決定]を押すと、ドコモのサイトに接続されます。

●次ページへ

4 ［メール］［iモード］を押して[メール設定確認]を選び［決定］を押すと、自分のメールアドレスが表示されます。

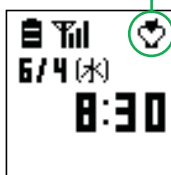
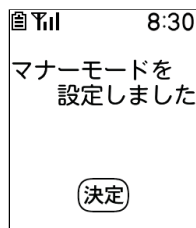
5 自分のメールアドレスを確認して［電源］を押すと、ｉモードを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

6 ［メール］［iモード］を押して[終了する]を選び［決定］を押して、待受画面に戻しましょう。

メールアドレスを変更するには

自分のメールアドレスは、ドコモのサイトに接続して、簡単な操作で変更することができます。詳しくは、取扱説明書P263「自分のメールアドレスを確認・変更します」をご覧ください。

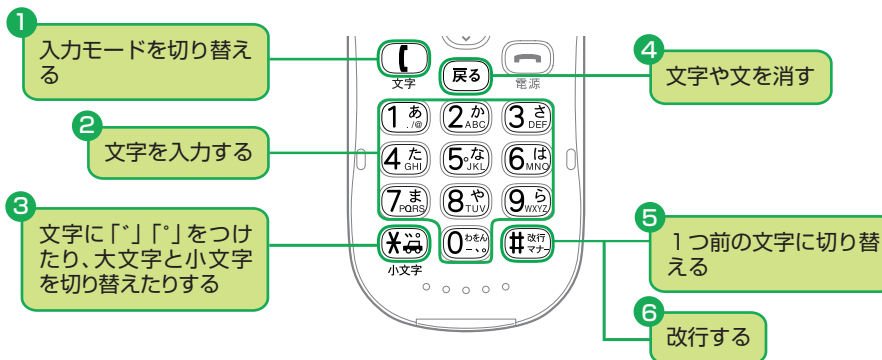
マナーモードで音を消すには？

外出先でF883iSを使用する際には、まわりの迷惑にならないようにこころがけましょう。マナーモードを設定すれば、F883iSから鳴る音を消すことができます。音を消してもバイブレータが振動して、電話の着信やメールの受信などを知ることができます。
電源を切る必要のあるところでは「公共モード（電源OFF）」をご利用ください。「公共モード（電源OFF）」については、取扱説明書P76「電源を切る必要のある場所で電話を受けないようにします」をご覧ください。

1 待受画面で（# 改行 マナー）を1秒以上押して、（決定）を押します。

マナーモードを解除するには

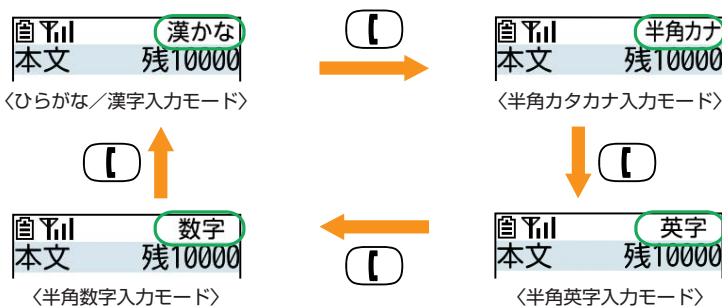
待受画面で（# 改行 マナー）を1秒以上押して、（決定）を押します。

文字入力を覚えよう

文字入力には面倒な印象がありますが、ルールさえ覚えてしまえば、決して難しくはありません。ここで基本的なルールをしっかりと覚えて、電話帳の登録やメールの作成などに生かしましょう。

文字入力に使用するボタンの役割

※ダイヤルボタンに割り振られている文字については、本書P21「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。

❶ 入力モードを切り替える

（ ）を押すたびに入力モードが切り替わります。現在の入力モードはディスプレイ右上の表示で確認することができます。

- **ひらがな／漢字入力モード**…漢字、ひらがな、カタカナ、半角のカタカナ、英字、半角の英字、数字、半角の数字
- **半角カタカナ入力モード**……半角のカタカナ、半角の数字
- **半角英字入力モード**…………半角の英字、半角の数字
- **半角数字入力モード**…………半角の数字

❷ 文字を入力する

文字を入力するときに使います。同じボタンを連続して押した回数によって、入力文字が変わります。同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、[→]を押して入力位置を示すカーソルを移動させます。

例 [4たGHI]の場合

❸ 文字に「゛」「゜」をつけたり、大文字と小文字を切り替えたりする

ひらがなやカタカナを入力した後に[＊]を押して文字に「゛」「゜」をつけたり、入力した文字の大文字と小文字を切り替えたりすることができます。

●ひらがな／漢字入力モード、半角カタカナ入力モードの場合

例 「ば」と入力するとき

[6はMNO]を1回押した後に[＊]を押します。[＊]を押すたびに文字が次の順番で切り替わります。

1回「ば」⇒2回「ぱ」⇒3回「は」…3回押すと、「は」に戻ります。

例 「ょ」と入力するとき

[8やTUV]を3回押した後に[＊]を押します。[＊]を押すたびに文字が次の順番で切り替わります。

1回「ょ」⇒2回「よ」…2回押すと、「よ」に戻ります。

ただし、「つ」の場合は、1回「づ」⇒2回「っ」⇒3回「つ」…3回押すと、「つ」に戻ります。「ﾂ」の場合は、1回「ｯ」⇒2回「ﾂ」…2回押すと、「ﾂ」に戻ります。

●半角英字入力モードの場合

例 「F」と入力するとき

[3さDEF]を3回押した後に[＊]を押します。[＊]を押すたびに文字が次の順番で切り替わります。

1回「F」⇒2回「f」…3回押すと、「F」に戻ります。

●次ページへ

④ 文字や文を消す

入力した文字を消すことができます。消える文字はカーソルの位置やボタンを押す長さで変わります。

● **カーソルが入力文字の先頭か途中にある場合（例：こんにちは）**

戻る　　　　　：カーソル位置の1文字を削除します。
戻るを1秒以上：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字を削除します。

● **カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：こんにちは▮）**

戻る　　　　　：カーソルの左の1文字を削除します。
戻るを1秒以上：すべての入力文字を削除します。

⑤ 1つ前の文字に切り替える

入力中の文字は#改行マナーを押すたびに、ボタンに割り当てられている1つ前の文字に切り替わります。

例 「も」が入力されているとき

7まPQRSを5回押した後に#改行マナー押すたびに1つ前の文字に切り替わります。

1回「め」⇒2回「む」⇒3回「み」⇒4回「ま」⇒5回「7」⇒6回「も」･･･6回押すと、「も」に戻ります。

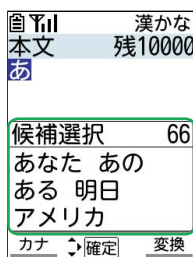
⑥ 改行する

カーソルが入力文字の末尾にあるときに#改行マナーを押すと、カーソルが次の行に移ります。
メールなどは文章と文章の間で改行すると、読みやすくなります。

文字の変換について

次の画面のときにひらがな／漢字入力モードで文字を入力すると、画面下部に漢字や単語などの文字の変換候補が候補選択リストに表示されます。

･メール作成時の題名入力画面と本文入力画面　･メール例文編集画面
･署名登録画面　･定型文編集画面

候補選択リストに使いたい漢字や単語などが表示されれば、すべての文字を入力する必要がありません。

選びたい単語がないときや候補選択リストが表示されないときには、次の操作を行います。

電話帳：変換候補を表示します。さらに、または電話帳を押すと、変換候補一覧が表示されます。
決定：ひらがなのまま確定します。
メニュー：全角カタカナに変換します。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

ダイヤルボタンには、次のように文字が割り当てられています。

ボタン	ひらがな／漢字入力モード※1	半角カタカナ入力モード	半角英字入力モード	半角数字入力モード※2
1 あ .,/@	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ˜ – : _ [¥] ˆ ` { | } 1	1
2 か ABC	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3 さ DEF	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4 た GHI	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5 な JKL	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6 は MNO	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7 ま PQRS	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8 や TUV	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9 ら WXYZ	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0 わをん	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 ■ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 ■ 0	! ” # $ % & ’ ( ) * + , ; < = > ? ■ 0	0 +※3
＊	゛ ゜	゛ ゜	—	* P※3
# 改行 マナー	↲（改行）	↲（改行）	↲（改行）	# T※3

■：半角／全角の空白を示します。

□：文字入力後に＊を押すか、同じボタンを複数回押すと大文字／小文字に切り替わります。

※1 数字は半角で入力されます。

※2 半角数字入力モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄でのみ入力できます。

※3 該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

電話を使おう

携帯電話は外出先でも連絡が取れるので、待ち合わせのときなどにとても便利です。F883iSには相手の声を聞き取りやすくする機能も備わっているので、屋外でも快適に通話することができます。

「はっきりボイス」を利用する

はっきりボイスとは、通話中にまわりの騒音を測定して相手の声を聞き取りやすく強調する機能です。
お買い上げ時には、はっきりボイスはオンに設定されています。この設定は自分で変えない限りオンのままです。

「ゆっくりボイス」を利用する

ゆっくりボイスとは、相手の話す速度を落としてゆっくり聞こえるようにする機能です。
お買い上げ時には、ゆっくりボイスはオフに設定されています。
通話中にを押すと、ゆっくりボイスはオンになります。もう一度を押すと解除されます。

自分のまわりの音がうるさいときには

電話がかかってきたときに周囲の騒音が一定のレベルを超えていると、着信音が設定した音量からだんだん大きくなります（着信音量が1～5でマナーモード中以外のときに動作します）。着信音量を設定音量のままにすることもできます。詳しくは、取扱説明書 P72「騒音の中での自動音量調節の設定」をご覧ください。

通話中に自分の電話番号を知りたくなったら

通話中に自分の電話番号がディスプレイに表示されます。通話をしている相手に電話番号を尋ねられたときなどにすぐに答えられます。
自分の電話番号を表示しないように変更することもできます。詳しくは、取扱説明書P54「自局電話番号を通話中画面に表示するかどうかを設定します」をご覧ください。

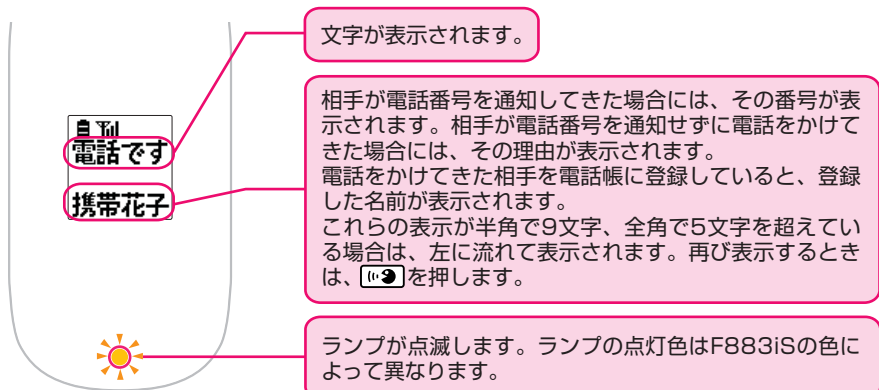
電話を受けるには？

電話がかかってくると、音や光、ディスプレイの表示などでお知らせします。

F883iSを折り畳んでいると背面ディスプレイには…

文字が表示されます。

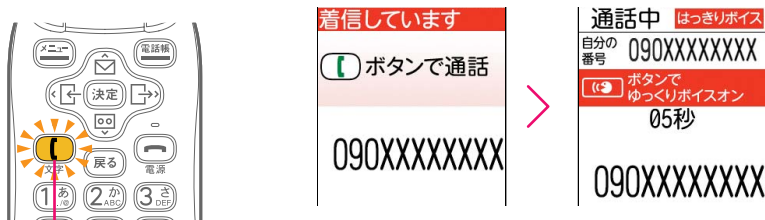
相手が電話番号を通知してきた場合には、その番号が表示されます。相手が電話番号を通知せずに電話をかけてきた場合には、その理由が表示されます。
電話をかけてきた相手を電話帳に登録していると、登録した名前が表示されます。
これらの表示が半角で9文字、全角で5文字を超えている場合は、左に流れて表示されます。再び表示するときは、[(•]を押します。

ランプが点滅します。ランプの点灯色はF883iSの色によって異なります。

F883iSを開いているとディスプレイには…

着信しています
[ボタンで通話
携帯花子
090XXXXXXXX

電話帳に登録している電話番号から電話がかかってきたときは、登録名が表示されます。
相手が電話番号を通知せずに電話をかけてきた場合には、その理由が表示されます。

相手が電話番号を通知してきた場合には、その番号が表示されます。

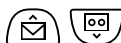
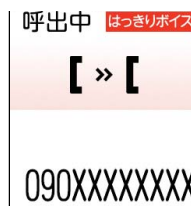
1 電話がかかってきたら[ ]を押して、受話口を耳にあて、マイクに向かって話します。

点滅してお知らせします。

2 [—]を押すと、電話が切れます。

電話をかけるには？

かかってきた相手に電話をする

F883iSに電話がかかってくると、かかってきた日時やかけてきた相手の電話番号などが記録されます。この記録のことを着信履歴といい、最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから削除されます。
着信履歴を利用して電話をかけたり、メールを作成したりすることができます。
まずはじめに着信履歴の見かたを覚えて、電話をかけてみましょう。

1 待受画面で［着信履歴キー］を押すと、最新の着信履歴が表示されます。

2 ✉ ⌸を押して電話したい相手を選び[ ]を押すと、電話がかかります。受話口に耳をあて、相手が出たらマイクに向かって話します。

お客様の電話番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

⌒を押していったん発信を終了し、着信履歴で電話したい相手を選びメニューを押して［通知で電話］を選び決定を押します。
電話番号を直接入力して電話をかけるときは電話番号の前に「186」を付けてからおかけ直しください。あらかじめ一括してお客様の電話番号を通知するように設定することもできます。
詳しくは、取扱説明書P44「相手に自分の電話番号を通知します」をご覧ください。

3 ⌒を押すと、電話が切れます。

かけた相手にもう一度電話をかける（リダイヤル）

こちらから電話をかけた履歴は、リダイヤルとして記録されます。相手が話し中でつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直すことができます。リダイヤルは最大30件記録され、30件を超えると、古いものから削除されます。
最新のリダイヤルを表示するには、待受画面で⇨を押します。その後の操作は、「かかってきた相手に電話をする」の操作2からと同様です。

電話番号を入力してかける

自宅や会社などの一般電話とほぼ同じようにかけることができますが、携帯電話は、同じ市内にかけるときでも必ず市外局番から入力する必要があります。ディスプレイに表示される電話番号を確認して、間違い電話をしないように気をつけてください。
それでは、電話をかけてみましょう。

1 電話番号を市外局番から入力し、表示されている番号を確認します。

電話番号を入力するときには、必ず待受画面から始めてください。

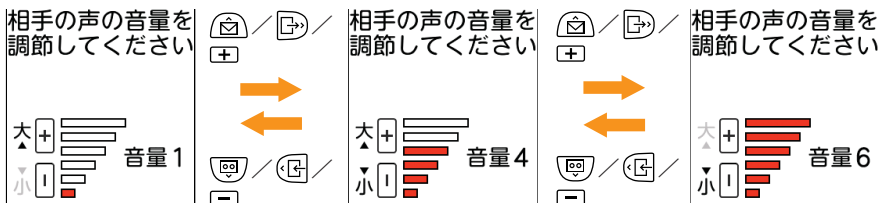
2 番号を確認したら[ボタン]を押し、受話口に耳をあて、相手が出たらマイクに向かって話します。

3 [ボタン]を押すと、電話が切れます。

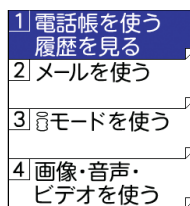
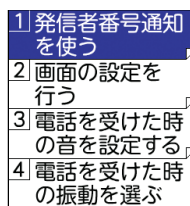
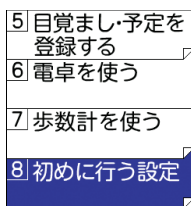
受話音量を調節する

受話口から聞こえてくる相手の声の大きさを調節することができます。また、相手の声の大きさや自分のまわりの状況に合わせて、通話中に音量を調節することもできます。
音量は6段階で調節できます。また、調節した音量は、電源を入れ直しても変わりません。

通話中に調節するには…

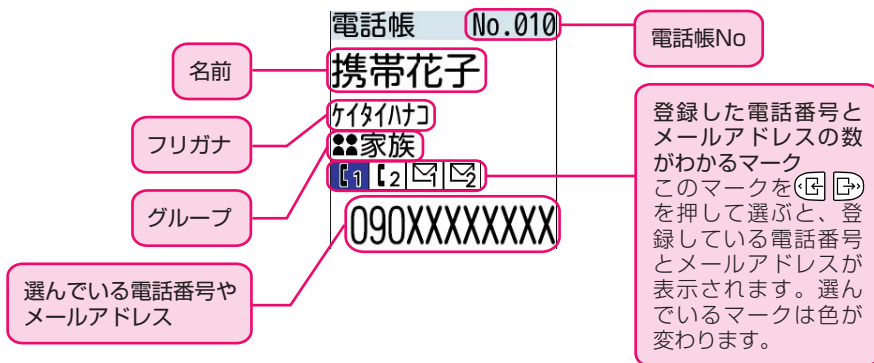
[メール][ボイス][+][−]のいずれかのボタンを押すと、音量調節画面が表示されます。

お買い上げ時には、音量4に設定されています。

1 待受画面で[メニュー]を押します。

2 [メール][ボイス]を押して[初めに行う設定]を選び[決定]を押します。

3 [メール][ボイス]を押して[相手の声の音量を調節する]を選び[決定]を押し、音量調節画面で「通話中に調節するには・・・」と同様の操作を行い[決定]を押します。[電源]を押して、待受画面に戻しましょう。

電話帳に登録しよう

電話番号とメールアドレスの登録のしかた

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録しておくと、毎回入力する必要がなくなるので、メモや記憶に頼ることなく連絡が取れるようになります。
また、電話帳に登録した人から電話がかかってきたときには登録した名前が表示されるので、安心して電話に出ることができます。

1 待受画面で（メニュー）を押すと、メニュー画面が表示されます。

2 [電話帳を使う　履歴を見る]が選ばれていることを確認して決定を押します。✉ ▣を押して[電話帳に登録する]を選び決定を押すと、名前の入力画面が表示されます。

3 名前を入力して決定を押すと、入力した名前のフリガナの入力画面が表示されます。

4 フリガナが正しいことを確認して決定を押します。電話番号の入力画面が表示されます。

フリガナを変更するには

フリガナは50音順検索やフリガナ検索に使用するので、正しく入力してください。正しく入力されていない場合は、戻るを押してフリガナを削除し、入力し直してください。

●次ページへ

5 電話番号を入力して決定を押すと、2つ目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

自宅や会社などの一般電話の番号を入力するときは、必ず市外局番から入力してください。数字を（ ）や－などで区切る必要はありません。

複数の電話番号を登録するには

2つ目の電話番号を登録する場合は、確認画面で[メール][留守電]を押して［入力する］を選び、決定を押して電話番号を入力します。続けて3つ目の電話番号を入力することもできます。

6 [入力しない]が選ばれていることを確認して決定を押すと、メールアドレスの入力画面が表示されます。

7 メールアドレスを入力して決定を押すと、2つ目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

メールアドレスを登録しないとき

何も入力しないで決定を押し、操作9へ進みます。

8 [入力しない]が選ばれていることを確認して決定を押すと、登録するグループの選択画面が表示されます。

2つ目の
メールアドレスを
入力しますか？

1 入力する
2 入力しない

複数のメールアドレスを登録するには

2つ目のメールアドレスを登録する場合は、確認画面で を押して［入力する］を選び、決定を押してメールアドレスを入力します。続けて3つ目のメールアドレスを入力することもできます。

9 を押して登録するグループを選び決定を押すと、電話帳Noの入力画面が表示されます。

電話帳登録
1 グループなし
2 グループ1
3 グループ2
4 グループ3
5 グループ4
6 グループ5
7 グループ6

電話帳登録
電話帳Noを
入力してください

0〜9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10〜499:短縮なし
10

●次ページへ

10 電話帳Noを入力して決定を押すと、ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

電話帳登録
電話帳Noを
入力してください

0～9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10～499:短縮なし
10

電話帳を
登録しました。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙまたは
音声呼出しに
登録しますか？

1 登録する
2 終了する

電話帳Noは電話帳データの登録番号です。10～499のうち使用されていない一番小さい電話帳Noが自動で表示されますが、自分で入力することもできます。ワンタッチダイヤルの登録方法については、本書P34をご覧ください。

電話帳Noを上手に利用するには

電話帳No0～9に登録すると、短縮ダイヤル（ツータッチダイヤル）で電話をかけることができます。詳しくは、取扱説明書P125「少ないボタン操作で電話をかけます」をご覧ください。

11 [終了する]が選ばれていることを確認して決定を押すと、電話帳のメニュー画面が表示されます。電源を押して、待受画面に戻しましょう。

1 電話してきた相手を見る
2 電話をかけた相手を見る
3 電話帳の内容を見る
4 電話帳に登録する

電話帳の内容を変えたいときには

登録した電話帳の内容を変更したり、追加したりするときは、はじめから登録し直す必要はありません。
変更するには取扱説明書P107「電話帳を修正します」を、追加するには取扱説明書P94「登録済み電話帳への追加」をご覧ください。

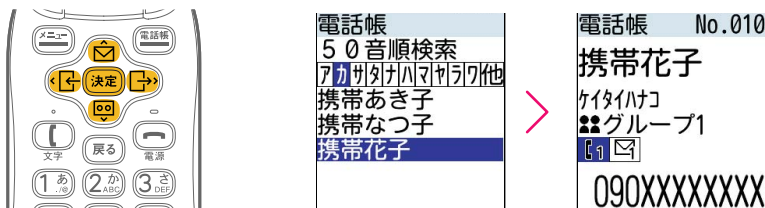
電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録したら、電話帳を利用して電話をかけてみましょう。
ここでは、お買い上げ時に設定されている検索方法（50音順検索）で説明します。

1 待受画面で[電話帳]を押すと、電話帳の50音順検索画面が表示されます。

検索の優先設定について

電話帳の検索画面で[電話帳]を押して、検索方法を変更することができます。
待受画面で[電話帳]を押したときに、50音順以外の検索方法を表示させるように変更する方法については、取扱説明書P106「優先する検索方法を設定」をご覧ください。

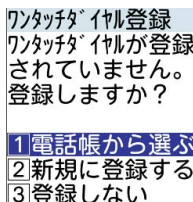
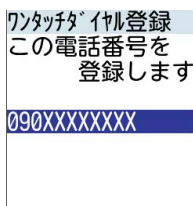
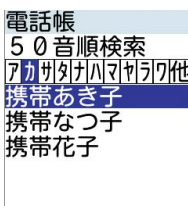
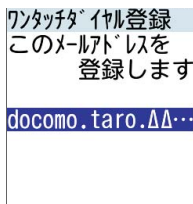
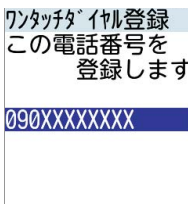
2 [上][下][左][右]を押して電話をかける相手を選び[決定]を押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。

3 [発信]を押すと、電話がかかります。受話口に耳をあて、相手が出たらマイクに向かって話します。

4 [終話]を押すと、電話が切れます。

ワンタッチダイヤルの登録のしかた

よく連絡を取る相手の電話番号やメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送ったりすることができます。1つのワンタッチダイヤルに電話番号とメールアドレスを1つずつ登録することができます。
50音順検索を利用してワンタッチダイヤルに登録する方法を説明します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1～3のいずれか1つ)を押すと、ワンタッチダイヤルを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

ワンタッチダイヤル登録
ワンタッチダイヤルが登録されていません。
登録しますか？
1 電話帳から選ぶ
2 新規に登録する
3 登録しない

2 [電話帳から選ぶ]を選び決定を押すと、50音順検索画面が表示されます。を押して登録する相手を選び決定を押すと、登録する電話番号の確認画面が表示されます。

3 電話番号を確認して決定を押すと、登録するメールアドレスの確認画面が表示されます。

電話帳に複数の電話番号やメールアドレスを登録しているとき

2つ目、3つ目の電話番号やメールアドレスが表示されます。[✉][◎◎]を押して登録したい電話番号やメールアドレスを選び[決定]を押します。

4 メールアドレスを確認して[決定]を押すと、専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。[設定しない]を選び[決定]を押すと、ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ専用の
着信音(電話/ﾒｰﾙ)
を設定しますか？
1 設定する
2 設定しない

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ 1 に
携帯花子
を登録しました
決定

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定すると

誰から、電話またはメールがきたのかが音でわかるようになります。詳しくは、本書P78の3番目のQ&Aをご覧ください。

5 [決定]を押すと、ワンタッチダイヤルの登録内容が画面に表示されます。

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ 1 に
携帯花子
を登録しました
決定

ヒント ワンタッチダイヤルで電話をかけるには

待受画面でワンタッチダイヤルボタン（[1]～[3]のいずれか1つ）を1秒以上押すと、登録した電話番号に電話がかかります。
話し終わったら[—]を押して、電話を切ります。

6 登録内容を確認したら[—]を押して、待受画面に戻しましょう。

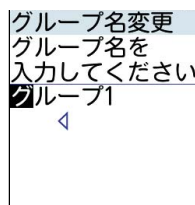
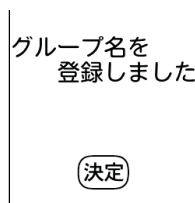
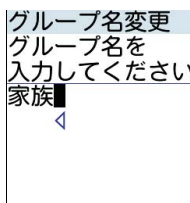
グループ名を変更する

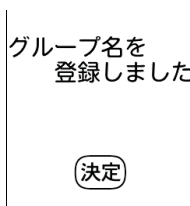
電話帳の登録件数が多くなると、電話をかけたり、メールを送りたい相手が見つけにくくなってしまいます。そんなときには、電話帳を「家族」「友人」「会社」などわかりやすいグループに分けておけば、より見つけやすくなります。

1 待受画面で(メニュー)を押すと、メニュー画面が表示されます。

2 [電話帳を使う　履歴を見る]が選ばれていることを確認して(決定)を押します。

3 ( )( )を押して[電話帳のグループを設定する]を選び(決定)を押します。

4 [グループ名を変更する]を選び決定を押すと、グループ名変更画面が表示されます。を押して、変更したいグループ名を選び決定を押すと、グループ名の入力画面が表示されます。

5 グループ名を入力して決定を押すと、グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。

ここでは「グループ1」を「家族」というグループ名に変更しました。全角で最大10文字、半角で最大20文字のグループ名を付けることができます。

6 を押して、待受画面に戻しましょう。

グループごとに着信音を設定するには

グループごとの着信音を設定しておけば、どのグループの相手からの着信かを音で知ることができます。
グループごとの着信音の設定は、本書P78の3番目のQ&Aをご覧ください。

メールを使おう

文字として情報を確実に伝えたいときや、喜びや感謝の気持ちなどを文字で表現したいときなどには、メールを使ってみましょう。電話が使えないところにいる相手にも確実に用件が伝わるということも、メールの魅力のひとつです。

2つのメール作成モード

F883iSのメール作成には、「簡単メール」と「通常メール」という2種類のモードがあります。新しくメールを作成するときの操作の違いは、次のとおりです。

待受画面で ✉ を1秒以上押したら・・・

次のどちらの画面が表示されましたか？

簡単メールモード

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
送りたいメールを
選んでください
1 文章のみ送る
2 音声を送る
3 画像を送る
4 ビデオを送る
決定 通常

簡単メール作成画面

手引きに従って送信までを操作していくモードです。メールの使い始めに適しています。

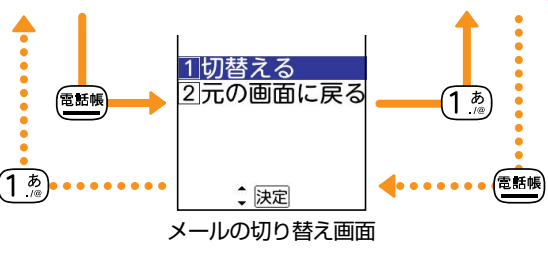
送りたいメールの種類を選び 決定

操作手順に沿ってメールを作成することができます。

通常メールモード

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
送信する
ﾒﾆｭｰ 決定 簡単

通常メール作成画面

手引きに従うことなく、自分の好きなところから作成ができるモードです。

項目を選び 決定

手引きに従うことなく、メールを作成することができます。

メールの切り替え画面

電話帳 → / 1 あ ./@

1 切替える
2 元の画面に戻る
決定

メールの切り替え画面

※本書では、簡単メールモードでのメールの送りかた、読みかたを説明しています。通常メールの操作については、取扱説明書P272「iモードメールを作成して送信します」をご覧ください。

画面の右下に 通常 または 簡単 が表示されたとき

上記以外の画面で画面の右下に 通常 が表示されたときは通常メールに、画面の右下に 簡単 が表示されたときは簡単メールに切り替えることができます。

例文を使ってメールを送る

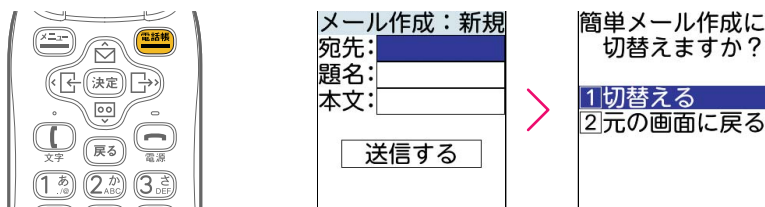
F883iSには10種類のメール用の例文が用意されています。例文を活用すれば文字入力から解放され、簡単にメールを送ることができます。
まず、この例文を自分自身に送ってみましょう。自分自身にメールを送る操作は、メール機能を理解する最も簡単な方法です。

1 待受画面で（メールボタン）を1秒以上押すと、メール作成画面が表示されます。

簡単メール作成画面が表示されたときには

前回、メールを簡単メールで作成した場合には、操作1の右画面（通常メール作成画面）が表示されません。そのときには、操作4からスタートしてください。

2 メール作成画面で（電話帳）を押すと、簡単メール作成に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

●次ページへ

3 [切替える]が選ばれていることを確認して決定を押すと、簡単メール作成画面が表示されます。

簡単メール作成に
切替えますか？
1切替える
2元の画面に戻る

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
送りたいメールを
選んでください
1文章のみ送る
2音声を送る
3画像を送る
4ビデオを送る

4 [文章のみ送る]が選ばれていることを確認して決定を押すと、宛先の入力方法の選択画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
送りたいメールを
選んでください
1文章のみ送る
2音声を送る
3画像を送る
4ビデオを送る

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先を
入力してください
宛先：〈指定なし〉
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
3次へ進む
4他アドレス編集

5 を押して[直接入力する]を選び決定を押すと、宛先の入力画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先を
入力してください
宛先：〈指定なし〉
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
3次へ進む
4他アドレス編集

6 宛先入力画面で自分のメールアドレスを入力して決定を押すと、宛先の入力方法の選択画面に戻ります。

宛先 残24
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
入力文字の切替
大/小文字の切替

簡単メール作成:新規
宛先を
入力してください
宛先:docomo.taro
1 電話帳から選ぶ
2 直接入力する
3 次へ進む
4 他アドレス編集

自分のメールアドレスを確認する方法は、本書P15「自分のメールアドレスを確認するには？」をご覧ください。

7 [次へ進む]が選ばれていることを確認して決定を押すと、題名の入力方法の選択画面が表示されます。

簡単メール作成:新規
宛先を
入力してください
宛先:docomo.taro
1 電話帳から選ぶ
2 直接入力する
3 次へ進む
4 他アドレス編集

簡単メール作成:新規
題名を
入力してください
題名:
1 直接入力する
2 例文から選ぶ
3 次へ進む

8 を押して[例文から選ぶ]を選び決定を押すと、例文一覧画面が表示されます。

簡単メール作成:新規
題名を
入力してください
題名:
1 直接入力する
2 例文から選ぶ
3 次へ進む

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です

例文の内容を確認するには

例文一覧画面で を押して例文を選び電話帳を押すと、例文の内容を見ることができます。確認後は、電話帳または戻るを押すと、一覧画面に戻ります。
なお、取扱説明書P287「例文を利用してメールを作成します」に、全例文の内容が一覧で掲載されています。

●次ページへ

9 ▲▼を押して使いたい例文を選び決定を押すと、例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です

＞

例文を
読み込みました
決定

ここでは「題名：今、行きます　本文：今、待ち合わせ場所に向かっています。」を選びました。

10 決定を押すと、題名の入力方法の選択画面に戻ります。

例文を
読み込みました
決定

＞

簡単メール作成：新規
題名を
入力してください
題名：
今、行きます
1 直接入力する
2 例文から選ぶ
3 次へ進む

11 [次へ進む]が選ばれていることを確認して決定を押すと、本文を編集するかどうかの選択画面が表示されます。

簡単メール作成：新規
題名を
入力してください
題名：
今、行きます
1 直接入力する
2 例文から選ぶ
3 次へ進む

＞

簡単メール作成：新規
本文を
入力してください
本文：
今、待ち合わせ場
所に向かっていま
1 本文を編集する
2 次へ進む

12 [次へ進む]が選ばれていることを確認して決定を押すと、例文が取り込まれた簡単メール作成画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
本文を
入力してください
本文：
今、待ち合わせ場
所に向かっていま
1 本文を編集する
2 次へ進む

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：今、行きま
今、待ち合わせ場
所に向かっていま
す。

13 決定を押すと、送信するかどうかの確認画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：今、行きま
今、待ち合わせ場
所に向かっていま
す。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
メールを
送信しますか？
1 送信する
2 保存して終了

ここでは文章の変更を行いません。

14 [送信する]が選ばれていることを確認して決定を押すと、ｉモードメールが送信され、送信した旨のメッセージが表示されます。

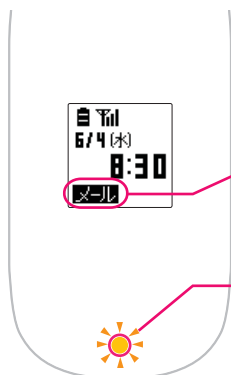
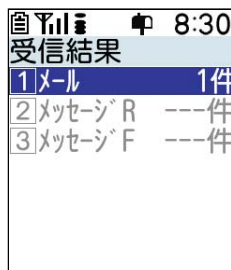
送信しました
決定

15 電源を押して待受画面に戻しましょう。

オリジナルの例文を登録する

F883iSに用意されている例文を変更して、オリジナルの文章を作っておくことができます。「題名：到着　本文：○○駅に着きました。」「題名：寄り道　本文：○○で買い物をしてから帰ります。」「題名：待ち合わせ　本文：○○で待ち合わせしましょう。」など、自分がよく使う文章を登録しておくと便利です。詳しくは、取扱説明書P288「例文を編集して保存」や、P289「作成したｉモードメールを例文として保存」をご覧ください。

届いたメールを読む

「例文を使ってメールを送る」でメール送信に成功すると、自分自身にメールが届きます。
では、届いたメールを読む方法を覚えましょう。
メールを受信すると、音や光、ディスプレイの表示などでお知らせします。

F883iSを開いているとディスプレイ（待受画面）には…

1 待受画面に「メールあり」と表示されているときに を押すと、届いたメールの一覧が表示されます。

届いたメールのうち、読んでいないメールには が付いています。

待受画面に「メールあり」と表示されていないときには

まだ読んでいないメールがあっても、待受画面の「メールあり」というメッセージが消えてしまうことがあります。その場合には、本書P47「絵文字や顔文字の使いかた」の操作1～3を行い、メールの一覧を表示させることができます。

複数のメールが届いているとき

メールの一覧で を押すと、読みたいメールを選ぶことができます。メールの内容を表示しているときに を押すと、他のメールの内容を表示することができます。

2 読んでいないメールが選ばれていることを確認して 決定 を押すと、メールの内容が表示されます。

受信箱
001/001件
08/06/04 08:30
docomo.taro.…
今、行きます
今、待ち合わせ場所に向かっています。

3 メールを読み終わったら を押して、待受画面に戻しましょう。

待受画面に戻さずにメールにそのまま返信するには、 を押さずに、次の「届いたメールに返信する」の操作5に進んでください。

届いたメールに返信する

次に、届いたメールに返信する方法を覚えましょう。

メール作成モードによる返信操作の違い

受信箱のメール一覧から返信をすると、設定されているメール作成モードによって表示される画面が異なります。メール作成モードによる操作の違いは、次のとおりです。

※本書では、簡単メールモードでのメールの返信のしかたを説明しています。通常メールの操作については、取扱説明書P301「ｉモードメールに返事を出します」をご覧ください。

絵文字や顔文字の使いかた

絵文字や顔文字は少ない文字数で気持ちを伝えることができる効果的な方法です。

文字だけのメールと絵文字を使ったメールの違い

下の画面は、同じ内容の2つのメールです。左側の文字だけのメールと比べて、右側の絵文字や顔文字を使ったメールは、とても生き生きとして、メールを受け取った人も楽しくなりそうです。

本文　残9936
明日は晴れるかしら？ビールが楽しみなので車はやめてバスにしました
入力文字の切替
大/小文字の切替

文字だけのメール

本文　残9939
明日はかしら？が楽しみなのではやめてにしました(*^_^*)
入力文字の切替
大/小文字の切替

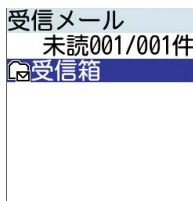
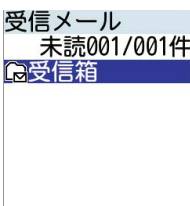
絵文字を使ったメール

ここでは、次の例文を入力する方法を説明します。

こんやの　楽しみです (^-^)v

1 待受画面で を押します。

●次ページへ

2 [受信したメールを見る]が選ばれていることを確認して(決定)を押すと、受信メールのフォルダ一覧(お買い上げ時の状態では「受信箱」のみ)が表示されます。

3 [受信箱]が選ばれていることを確認して(決定)を押すと、届いたメールの一覧が表示されます。

4 返信するメールが選ばれていることを確認して(決定)を押すと、メールの内容が表示されます。

内容を確認せずに(電話帳)を押すと、操作6に進みます。

5 メールの内容が表示された画面で電話帳を押すと、メールの種類の選択画面が表示されます。

受信箱
To 001/001件
08/06/04 08:30
docomo.taro.…
今、行きます
今、待ち合わせ場所に向かっています。

簡単メール作成:返信
送りたいメールを選んでください
1 文章のみ送る
2 音声を送る
3 画像を送る
4 ビデオを送る

らくらく返信画面から簡単メール作成画面に切り替えるには

を押して任意の項目を選び決定を押すと、通常メール作成画面が表示されます。通常メール作成画面で電話帳を押すとメールの切り替え画面が表示されるので、［切替える］を選んで簡単メール作成画面に切り替えてください。
操作の流れは本書P46「メール作成モードによる返信操作の違い」をご覧ください。

6 ［文章のみ送る］が選ばれていることを確認して決定を押すと、宛先の入力方法の選択画面が表示されます。

簡単メール作成:返信
送りたいメールを選んでください
1 文章のみ送る
2 音声を送る
3 画像を送る
4 ビデオを送る

簡単メール作成:返信
宛先を入力してください
宛先:docomo.taro
1 電話帳から選ぶ
2 直接入力する
3 次へ進む
4 他アドレス編集

宛先欄には相手のメールアドレス（この例では自分のメールアドレス）が表示されます。

7 ［次へ進む］が選ばれていることを確認して決定を押すと、題名の入力方法の選択画面が表示されます。

簡単メール作成:返信
宛先を入力してください
宛先:docomo.taro
1 電話帳から選ぶ
2 直接入力する
3 次へ進む
4 他アドレス編集

簡単メール作成:返信
題名を入力してください
題名:
RE:今、行きます
1 直接入力する
2 例文から選ぶ
3 次へ進む

題名欄には、受信したときの題名に、返信を表す「RE:」が先頭について表示されます。

●次ページへ

8 [次へ進む]が選ばれていることを確認して(決定)を押すと、本文を編集するかどうかの確認画面が表示されます。

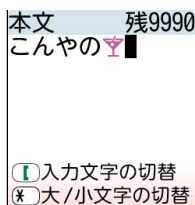
9 [本文を編集する]が選ばれていることを確認して(決定)を押すと、本文入力画面が表示されます。

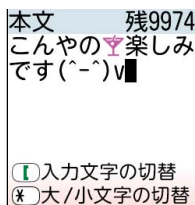
10 本文入力画面で「こんやの」と入力します。

11 次に絵文字を入力します。本文の入力画面で(メニュー)を押してサブメニューを表示させ、[絵文字を入力]が選ばれていることを確認して(決定)を押します。

文字入力画面のサブメニュー操作

文字入力画面で(メニュー)を押して表示されるサブメニューからは、絵文字以外にも、記号、定型文などを選ぶことができます。

12 絵文字一覧で(↑)(↓)(←)(→)を押して「🍸」を選び、(決定)を押します。

13 続けて「楽しみです」と入力できたら、最後に顔文字を入力します。本文入力画面で「かお」と入力すると、候補選択リストが表示されます。(↑)(↓)(←)(→)を押して「(^-^)v」を選び、(決定)を押します。

●次ページへ

14 本文を確認して決定を押します。

本文　残9974
こんやの🍸楽しみ
です(^-^)v
入力文字の切替
大/小文字の切替

簡単メール作成:返信
本文を
入力してください
本文:
こんやの🍸楽しみ
です(^-^)v
1本文を編集する
2次へ進む

15 [次へ進む]が選ばれていることを確認して決定を押すと、宛先、題名、本文が一目で確認できる画面が表示されます。

簡単メール作成:返信
本文を
入力してください
本文:
こんやの🍸楽しみ
です(^-^)v
1本文を編集する
2次へ進む

簡単メール作成:返信
宛先: docomo.tar
題名: RE:今、行
こんやの🍸楽しみ
です(^-^)v

16 決定を押すと、メールを送信するかどうかの確認画面が表示されます。

簡単メール作成:返信
宛先: docomo.tar
題名: RE:今、行
こんやの🍸楽しみ
です(^-^)v

簡単メール作成:返信
メールを
送信しますか?
1送信する
2保存して終了

17 [送信する]が選ばれていることを確認して決定を押すと、iモードメールが送信され、送信した旨のメッセージが表示されます。

送信中

送信しました
決定

18 ⌒を押して待受画面に戻しましょう。

絵文字を使うときには注意しましょう

ドコモの携帯電話以外に絵文字を使ってメールを送ると、類似した絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によっては、正しく表示されないことがあります。

音声メールの送りかた

文字を入力するのが苦手だったり、入力する時間がないときには、録音した声をメールとして送る音声メールを利用しましょう。ここでは、届いたメールに音声で応える方法を説明します。
相手の携帯電話が音声メールに対応していない場合は、音声を聞くことはできません。

1 本書P47「絵文字や顔文字の使いかた」の操作1～5を行って、メールの種類の選択画面を表示します。

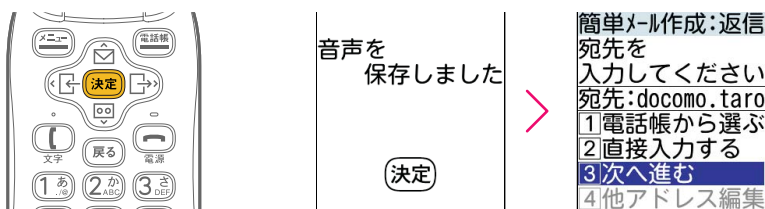
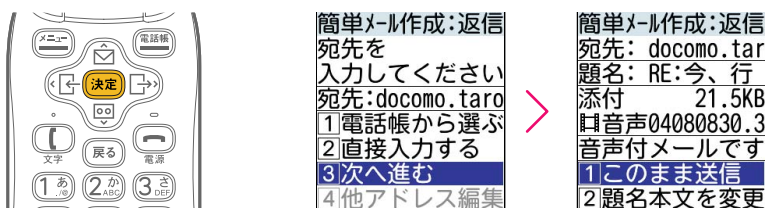
2 [メール]・[ボイス]を押して［音声を送る］を選び[決定]を押すと、音声録音画面が表示されます。

3 [決定]を押すと録音が始まります。マイクに向かってお話しください。

1件あたり約60秒録音することができます。

4 [決定]を押すと録音が終わり、保存の確認画面が表示されます。

5 決定を押すと音声を保存した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押すと宛先の入力方法の選択画面が表示されます。

7 [次へ進む]が選ばれていることを確認して決定を押すと、このまま送信するかどうかの確認画面が表示されます。

8 [このまま送信]が選ばれていることを確認して決定を押すと、音声メールが送信され、送信した旨のメッセージが表示されます。

9 を押して待受画面に戻しましょう。

音声読み上げを使おう

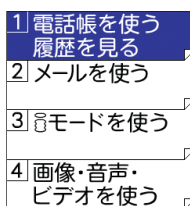
表示中の機能の説明やｉモードサイト、メールの内容を音声で読み上げるように設定することができます。読み上げる声質（女性・男性）を選んだり、読み上げる速さや音量を選んだりすることができます。
読み上げを設定した後にマナーモードを設定すると、読み上げは行われないようになります。マナーモードを解除すると、再び読み上げを行うようになります。
読み上げ方法には「自動」「手動」の2種類がありますが、ここでは、を押したときだけ読み上げを行う「手動で読み上げ」の設定方法について説明します。

ディスプレイと背面ディスプレイには、読み上げが設定されていることを示すマークが表示されます。読み上げ中はディスプレイのマークが点滅します。

ディスプレイ

背面ディスプレイ

音声読み上げが行われているときに を押すと、読み上げを途中で止めることができます。

1 待受画面で(メニュー)を押します。

2 〔✉〕〔☺〕を押して[初めに行う設定]を選び(決定)を押します。

- 5 目覚まし･予定を登録する
- 6 電卓を使う
- 7 歩数計を使う
- 8 初めに行う設定

＞

- 1 発信者番号通知を使う
- 2 画面の設定を行う
- 3 電話を受けた時の音を設定する
- 4 電話を受けた時の振動を選ぶ

3 〔✉〕〔☺〕を押して[音声読み上げを使う]を選び(決定)を押します。

- 5 相手の声の音量を調節する
- 6 ボタンを押した時の音を設定する
- 7 音声読み上げを使う
- 8 音声呼出しを登録する

＞

- 1 音声読み上げを設定する
- 2 音声読み上げ用の単語を登録する
- 3 ｽﾋﾟｰｶｰ／受話口の切替を行う

4 [音声読み上げを設定する]が選ばれていることを確認して(決定)を押すと、音声読み上げの設定画面が表示されます。

- 1 音声読み上げを設定する
- 2 音声読み上げ用の単語を登録する
- 3 ｽﾋﾟｰｶｰ／受話口の切替を行う

＞

音声読み上げを設定してください

1 動作	なし
2 声質	女声
3 速さ	2
4 音量	4

マナーモード中に音声読み上げを設定しようとすると

設定画面が表示される前に、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。[解除する]が選ばれていることを確認して(決定)を押すと、音声読み上げの設定画面が表示されます。

- 1 音声読み上げを設定する
- 2 音声読み上げ用の単語を登録する
- 3 ｽﾋﾟｰｶｰ／受話口の切替を行う

＞

マナーモード設定中です。マナーモードを解除しますか？

- 1 解除する
- 2 解除しない

＞

音声読み上げを設定してください

1 動作	なし
2 声質	女声
3 速さ	2
4 音量	4

●次ページへ

5 [動作]が選ばれていることを確認して決定を押すと、動作の選択画面が表示されます。

音声読み上げを
設定してください

1 動作　なし
2 声質　女声
3 速さ　2
4 音量　4

読み上げる動作を
選んでください

1 自動で読み上げ
2 手動で読み上げ
3 読み上げなし

6 を押して[手動で読み上げ]を選び決定を押すと、声質の選択画面が表示されます。

読み上げる動作を
選んでください

1 自動で読み上げ
2 手動で読み上げ
3 読み上げなし

読み上げる声質を
選んでください

1 女性の声
2 男性の声

7 を押して声質を選び決定を押すと、速さの選択画面が表示されます。

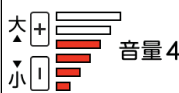
読み上げる声質を
選んでください

1 女性の声
2 男性の声

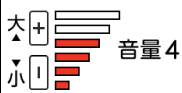
読み上げる速さを
選んでください

声質を確認するには

声質の選択画面で［女性の声］または［男性の声］を選びを押すと、それぞれの声質で読み上げが行われます。

8 を押して速さを選び決定を押すと、音量調節画面が表示されます。

速さを確認するには

速さの選択画面でで速さを選びを押すと、それぞれの速さで読み上げが行われます。

9 またはを押して音量を調節して決定を押すと、操作5から操作9で設定した項目が一覧表示されます。

10 電話帳を押すと、音声読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。

音声読み上げを
設定しました
決定

11 を押して待受画面に戻しましょう。

iモードを利用しよう

iモードとは、iモード対応携帯電話のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどを利用できるオンラインサービスです。
サイトに接続して、銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどのオンラインサービスを利用することができます。
F883iSでiモードセンターに接続すると、最初にらくらくiメニューが表示されます。ここから、各サイト（番組）などへアクセスします。
iモードのサービスは変更されることがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

iモードご契約の確認

iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、本書裏面をご覧ください。

1 待受画面で決定を1秒以上押すと、iモードのメニュー画面が表示されます。

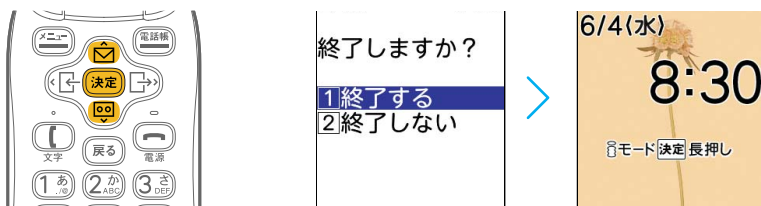
2 [iMenuを見る]が選ばれていることを確認して決定を押すと、らくらくiメニューが表示されます。

サイト接続中の画面はイメージです。メニュー構成など、実際の画面と異なる場合があります。

3 (✉)(◎)を押して、表示したいサイトを選び(決定)を押します。同じ操作を繰り返して、見たいサイトを表示させてみましょう。

ここでは「交通　乗換・渋滞」を選びました。

4 サイトを見終わったら(⌒)を押すと、ｉモードを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

5 (✉)(◎)を押して[終了する]を選び(決定)を押して、待受画面に戻しましょう。

電卓として使おう

F883iSには電卓機能が付いています。家計簿付けに、買い物に、さまざまなシーンで携帯電話が便利な電卓に早変わりします。

計算式とボタンの関係

電卓画面は、操作に使用するボタンの位置と機能がわかるようにデザインされています。

例 「18＋30」を計算するには、1 8 → 3 0 決定と押します。計算結果の「48」が画面に表示されます。

入力した数字、計算記号、計算結果が表示されます。

計算を取り消します。

掛け算を行います。

引き算を行います。

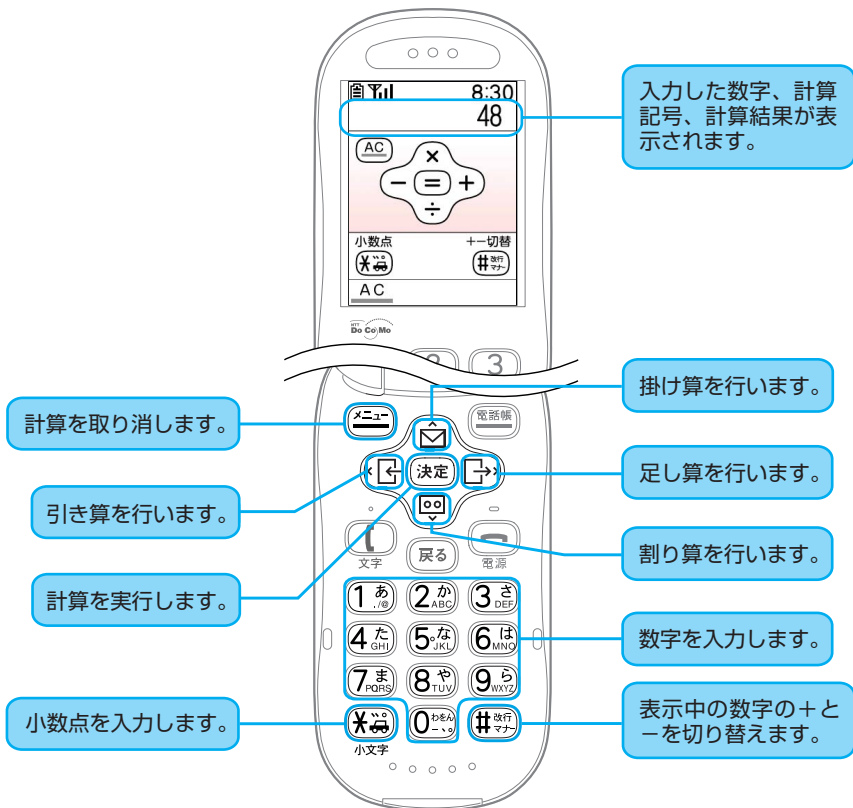
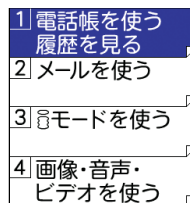
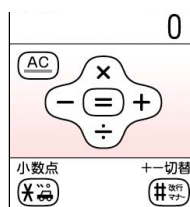
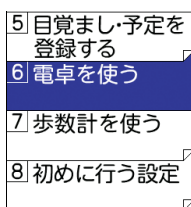
足し算を行います。

計算を実行します。

割り算を行います。

数字を入力します。

小数点を入力します。

表示中の数字の＋と−を切り替えます。

1 待受画面で(メニュー)を押します。

2 ( ) ( )を押して[電卓を使う]を選び(決定)を押すと、電卓の画面が表示されます。

3 「計算式とボタンの関係」を参考に、ボタンを使って計算をします。

4 電卓を使い終わったら、( )を押して待受画面に戻しましょう。

何桁まで計算できるか？

入力できる数は最大8桁です。また、計算結果の整数部分が8桁を超えるとエラーになります。小数点を含む数が8桁を超えると、表示できない小数部分が四捨五入されます。

目覚まし時計として使おう

毎朝使う目覚まし時計としてF883iSを利用しましょう。旅先で目覚まし時計を忘れてしまった場合にも、F883iSが目覚まし時計の代わりになります。
ここでは、月曜日から金曜日まで、朝7時30分に目覚ましをセットする方法を説明します。

目覚ましを設定すると…

待受画面には、目覚ましが設定されていることを示すマークが表示されます。

目覚ましをセットした時間になると、ディスプレイと背面ディスプレイの表示が変わり、目覚まし音が鳴ります。

※マナーモードなど、目覚まし音が鳴らないように設定する機能がありますので、気をつけてください。

1 待受画面で[メニュー]を押します。

2 [✉][⊙⊙]を押して[目覚まし・予定を登録する]を選び[決定]を押します。

1 目覚ましを使う
2 予定表を使う
3 予定の登録件数を見る
4 通知の時刻に電源を入れる

3 ［目覚ましを使う］が選ばれていることを確認して決定を押すと、目覚ましの設定画面が表示されます。

4 ［目覚まし］が選ばれていることを確認して決定を押すと、目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

5 を押して［動かす］を選び決定を押すと、時刻の入力画面が表示されます。

●次ページへ

6 時刻入力欄に0 7 3 0と入力して決定を押すと、繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

時刻を
設定してください
(0~23時0~59分)

07時30分

＞

繰り返しの種類を
設定してください

1 毎日繰り返す
2 曜日を指定する
3 繰り返さない

7 ✉ 📼を押して[曜日を指定する]を選び決定を押すと、曜日の選択画面が表示されます。

繰り返しの種類を
設定してください

1 毎日繰り返す
2 曜日を指定する
3 繰り返さない

＞

曜日を選びます
1 □日曜日
2 □月曜日
3 □火曜日
4 □水曜日
5 □木曜日
6 □金曜日
7 □土曜日

「毎日鳴らす」「１回だけ鳴らす」

繰り返しの種類で［毎日繰り返す］を選ぶと、月曜日から日曜日までの毎日同じ時刻に目覚まし音が鳴ります。［繰り返さない］を選ぶと、指定した時刻に一回だけ目覚まし音が鳴ります。

8 ✉ 📼を押して「月曜日」「火曜日」「水曜日」「木曜日」「金曜日」と選んでいる項目を移動させながら、決定を押して曜日を選びます。

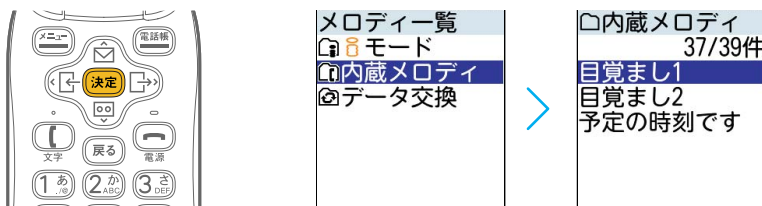
曜日を選びます
1 □日曜日
2 □月曜日
3 □火曜日
4 □水曜日
5 □木曜日
6 □金曜日
7 □土曜日

＞

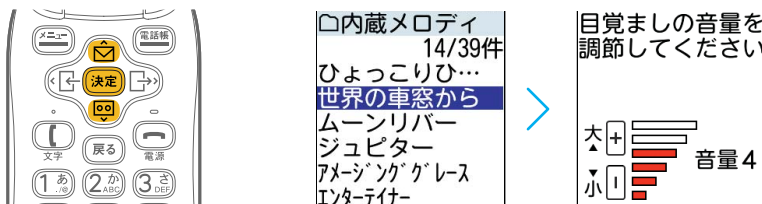
曜日を選びます
1 □日曜日
2 ☑月曜日
3 ☑火曜日
4 ☑水曜日
5 ☑木曜日
6 ☑金曜日
7 □土曜日

選んだ曜日の左側にチェックマーク☑が付きます。

9 曜日が正しく選択できたことを確認して電話帳を押すと、メロディを選択する画面が表示されます。

10 [内蔵メロディ]が選ばれていることを確認して決定を押すと、F883iS内のメロディ一覧が表示されます。

メロディを試聴するには

目覚まし音は、F883iSにあらかじめ用意されている39件の音声やメロディの中から選ぶことができます。
目覚まし音として設定する前にメロディを試聴するには、メロディ一覧が表示されている画面で上下を押して曲を選び、電話帳を押します。メロディの再生中は、上下を押して他の曲を選んだり、左右を押して音量を調節したりすることができます。戻るを押すと、メロディ一覧に戻ります。決定を押すと、そのとき試聴していた曲が目覚まし音に設定されます。

11 上下を押してメロディを選び決定を押すと、音量の調節画面が表示されます。

ここでは「世界の車窓から」を目覚まし音に設定しました。

●次ページへ

12 を押して音量を調節し決定を押すと、操作5から操作12で設定した項目が一覧表示されます。

目覚ましを
設定してください
1目覚まし　起動
2時刻　07時30分
3繰り返し
＿月火水木金＿
4音　世界の車…
5音量　4

目覚ましの設定内容を変更するには

設定内容の一覧表示画面から「時刻」や「音」といった一部の項目だけを変更することができます。一覧画面でを押して項目を選び、決定を押します。後は、本書の説明順に作業を進めます。

13 電話帳を押すと、目覚ましを設定した旨のメッセージが表示されます。

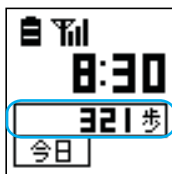
目覚ましを
設定しました。
目覚ましと同時に
電源を入れるには
ﾒﾆｭｰ54で設定
してください
決定

14 を押して待受画面に戻しましょう。

目覚まし音を止めるには

目覚まし音を止めたいときには、を押します。F883iSを折り畳んでいるときにを押しても目覚まし音は消えますが、を押さない限り、スヌーズ動作（1分間鳴って、4分間停止）を30分間繰り返します。

歩数計でチェックしよう

毎日の歩数が確認できる歩数計機能は、F883iSならではの楽しい機能です。毎日、歩数計機能を利用して、健康管理に役立ててみてはいかがですか？

歩数計を設定しよう

歩数計を利用するには、歩幅や体重を入力する必要があります。入力した歩幅や体重を基に、歩いた距離や消費したカロリーの目安が計算されます。

1 待受画面で(メニュー)を押します。

2 を押して[歩数計を使う]を選び決定を押すと、歩数計のメニュー画面が表示されます。

3 [歩数計の利用／停止を設定する]を選び決定を押すと、歩数計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。[利用する]を選び決定を押すと、メッセージが表示されます。

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください
決定

4 決定を押して歩幅の入力画面が表示されたら、歩幅を入力します。

ここでは「75」と入力しました。

参考 歩幅とは

歩いたときのつま先からつま先までの長さです。

10歩進んだ距離を歩数(10)で割ると、誤差が少なく測れます。

5 決定を押して体重の入力画面が表示されたら、体重を入力します。

ここでは「48」と入力しました。

6 決定を押すと、歩数計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

歩数計の利用を
開始しました。
利用しない場合は
メニュー71から
利用しないを選択
してください
決定

7 ⌒を押して、待受画面に戻しましょう。

履歴の確認のしかた

歩数計を設定していると、日付が変わるときに1日分の歩数の履歴が自動的に保存されます。当日を含めて32日分が確認できるので、外出をしたときとそうでないときとを比較したり、普段の平均歩数を調べたりすることができます。
歩行には、「通常歩行」と「いきいき歩行」の2種類があります。ここでは通常歩行の歩数を確認します。

1 待受画面で(メニュー)を押します。

2 (✉)(▣)を押して[歩数計を使う]を選び(決定)を押すと、歩数計のメニュー画面が表示されます。

3 (✉)(▣)を押して[歩数の履歴を表示する]を選び(決定)を押すと、通常歩行の歩数の履歴画面が表示されます。

1 歩数計の利用／停止を設定する
2 歩数の履歴を表示する
3 歩数の自動送信メールを設定する
4 歩数の履歴を削除する

通常歩行

1/5件

06/04	1750歩
06/03	3000歩
06/02	3500歩
06/01	3000歩
05/31	3500歩

歩数の履歴で確認できることは

ここで説明した「通常歩行の歩数」のほかに、以下の項目の履歴を確認することができます。

- 通常歩行の距離
- いきいき歩数
- 通常歩行のカロリー
- いきいき歩行時間

これらの項目を確認するには、通常歩行の歩数の履歴画面で[メニュー]を押し、[✉][📖]を押して確認したい履歴の項目を選び[決定]を押します。

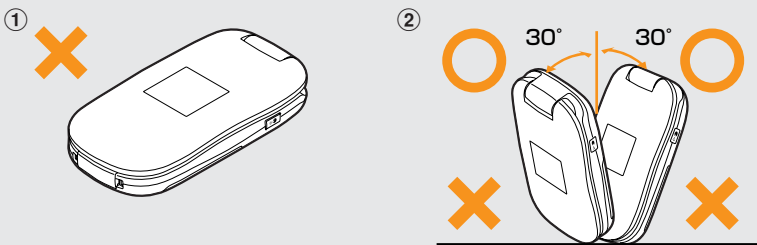
通常歩行	
	1/5件
06/04	1750歩
06/03	3000歩
06/02	3500歩
06/01	3000歩
05/31	3500歩

確認したら[終話]を押して、待受画面に戻しましょう。

歩数を正確にカウントするには

F883iSが地面と水平のとき（①）や、地面に対して垂直から前後30度以上傾いているとき（②）には、歩数を正確にカウントしないことがあります。また、すり足や階段・急斜面の昇り降りなど不規則な動きも、歩数のカウントに影響します。

①

②

正確に歩数をカウントするためには、キャリングケース（別売）などを使って正しく装着するか、かばんに入れるときにも固定できるポケットや仕切りの中に入れ、毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。

歩数計サービスでもっと楽しく

歩数計サービスは、F883iSの歩数計機能と自動送信メール機能を組み合わせて利用することで、東海道五十三次や富士登山などの仮想コースを歩くことができるサービスです。各コースに設けられたチェックポイントに到達したときに送られてくる、チェックポイント付近の写真や情報が、歩数計を利用する楽しみを広げます。

1 待受画面で(メニュー)を押します。

2 (メール)(ボイス)を押して[歩数計を使う]を選び(決定)を押すと、歩数計のメニュー画面が表示されます。

3 (メール)(ボイス)を押して[歩数の自動送信メールを設定する]を選び(決定)を押すと、歩数計の自動送信の設定画面が表示されます。

を押して[連携サービス]を選び決定を押すと、利用するサービスの選択画面が表示されます。

送信先アドレスを選ぶと

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数の履歴を自動的に送信するように設定することができます。
離れている家族に元気であることを知らせる便りとして、利用することができます。

5 を押して利用するサービスを選び決定を押すと、時間帯の選択画面が表示されます。

●次ページへ

6 を押してメールを自動送信する時間帯を選び決定を押すと、操作4から操作6で設定した項目が一覧表示されます。

時間帯を選びます
1 0時～ 2時
2 2時～ 4時
3 4時～ 6時
4 6時～ 8時
5 8時～10時
6 10時～12時

歩数の自動送信を設定してください
1送信先アドレス
設定なし
2連携サービス
富士登山
3送信時間帯
10時～12時

自動送信の設定内容を変更するには

設定内容の一覧表示画面から「連携サービス」や「送信時間帯」といった一部の項目だけを変更することができます。一覧画面でを押して項目を選び、決定を押します。後は、本書の説明順に作業を進めます。

7 電話帳を押すと、歩数計の自動送信メールを設定した旨のメッセージが表示されます。

歩数の自動送信を設定してください
1送信先アドレス
設定なし
2連携サービス
富士登山
3送信時間帯
10時～12時

歩数の
自動送信メールを
設定しました
決定

8 を押して、待受画面に戻しましょう。

歩数の
自動送信メールを
設定しました
決定

歩数計の自動送信メールが設定されていることを示すマークが表示されます。

お客様から寄せられることが多い質問にお答えしました。
F883iSをご使用いただく上で、困ったときには参考にしてください。

Q 電源が入りません。どうすればいいですか？

A 電池パックが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。正しく取り付けられていても電源が入らない場合には、電池切れの可能性があります。充電してから、電源を入れ直してください。

Q 充電してもすぐに電池がなくなってしまいます。どうすればいいですか？

A F883iSに取り付けている電池パックは消耗品です。そのため、充電を繰り返すたびに1回の使用時間は少しずつ短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックを交換してください。
いらなくなった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

Q 通話中の相手の声が途切れそうでとても聞きづらいときはどうすればいいですか？

A 相手の声が途切れそうになる原因は、主に2とおり考えられます。

- **自分がいるところの電波状況が悪い場合**

ディスプレイを見て電波状況を確認しましょう。電波状況が悪い場合には、電波状況のよいところに移動して電話をかけ直しましょう。

- **相手がいるところの電波状況が悪い場合**

自分がいるところの電波状況が悪くない場合には、相手がいるところの電波状況が悪いことが考えられます。相手に電波状況を確認してもらい、悪い場合には移動して、電話をかけ直してもらいましょう。

●次ページへ

Q 電話に出られないときに着信音がなってしまいました。どうやって着信音を止めたらいいですか？

A 着信中に[終話]を押すと、相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスを流すことができます（応答保留）。応答保留の間は、電話に出られる状態になったときに[開始]を押すと、電話に出ることができます。
また、着信中に[メニュー]→［伝言メモ］を選ぶと、相手の要件を録音することができます。

Q 運転中のため電話に出られません。相手に伝えるにはどうすればいいですか？

A 公共モード（ドライブモード）を設定しましょう。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。
設定するには、待受画面で[*]を1秒以上押し、公共モードが設定された旨のメッセージが表示されたら[決定]を押します。待受画面に[車]が表示され、公共モードを設定していることが確認できます。

Q 相手によって着信音を変更するには、どうすればいいですか？

A ワンタッチダイヤルボタンに登録した相手の着信音を設定する方法と、電話帳のグループごとに着信音を設定する方法があります。

●ワンタッチダイヤルの着信音を設定するには

ワンタッチダイヤルボタンを押し、[メニュー]→［電話着信音］を押す→メッセージに従って着信音を選びます。

●電話帳のグループごとに着信音を設定するには

[メニュー]→［電話帳を使う　履歴を見る］→［電話帳のグループを設定する］→［グループ専用の電話着信音を選ぶ］を選択→グループごとに着信音を選びます。
どちらの場合も、相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。

Q 暗証番号を忘れてしまいました。どうすればいいですか？

A 携帯電話に保存している情報を守るために、暗証番号はとても大切な役割を持っています。
暗証番号を確認するには、契約者本人であることを確認できる書類（運転免許証など）とF883iS、FOMAカードをドコモショップ窓口にお持ちください。
暗証番号は忘れないようにメモを取ることをおすすめします。

Q メールが受信できません。どうすればいいですか？

A ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されるしくみになっています。
メールが受信できない原因は、主に2とおり考えられます。

- **F883iSに電源が入っていないとき**
- **圏外にいるとき**

受信できなかったｉモードメールはｉモードセンターに保管され、一定の時間をおいてから再度（最大3回）送信されます。
3度目の受信もできなかった場合には、[メールキー]→［メールがあるか問合せる］→［届いているメール・メッセージを受信する］を押してｉモード問合せを行ってください。

Q 写真付きのメールを見るには、どうすればいいですか？ また、携帯電話に写真を保存することはできますか？

A メールの詳細画面で写真のデータ名だけが表示されている場合には、データ名を選び[決定]を押すと、写真を表示することができます。
データ名を選び[メニュー]→［添付データ確認］→［画像を保存］→[決定]を押すと、F883iSに保存されます。いったん保存した写真を見る方法は、待受画面で[メニュー]→[画像・音声・ビデオを使う]→[画像を見る]を選び[決定]を押します。アルバム一覧では「ｉモード」フォルダを見てください。
10000バイトを超える画像が添付されたｉモードメールを受信すると、自動的に取得して「画像を見る」の「ｉモード」フォルダに保存されます。

Q F883iSの調子が悪くなってしまいました。どうすればいいですか？

A 取扱説明書P495「故障かな？と思ったら、まずチェック」を確認してください。いつもと違う動きをしても、自分自身で直せる状態かもしれません。
それでも直らなかった場合には、ドコモショップなどの窓口にお持ちください。修理期間中は代わりの携帯電話をお貸ししますので、その期間も携帯電話を使用することができます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

i モードから　i Menu ⇒ 料金&お申込・設定 ⇒ 各種手続き（ドコモeサイト） パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、かんたん操作ガイド裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

メモ

F883iSに登録した内容は忘れないようにメモしておきましょう。

●ワンタッチダイヤルの①～③

①
名前:
電話番号:
メールアドレス:

②
名前:
電話番号:
メールアドレス:

③
名前:
電話番号:
メールアドレス:

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてご確認の上、お近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
ｉモードサイト　ｉMenu⇒お知らせ⇒ドコモショップ

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・ｉモードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

2008.5（1版）
CA92002-5361